# 科研費

# 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 1 5 日現在

機関番号: 14501

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2016~2020

課題番号: 16 H 0 3 5 9 8

研究課題名(和文)人的資本と経済成長

研究課題名(英文)Human Capital and Economic Growth

#### 研究代表者

西村 和雄 (Nishimura, Kazuo)

神戸大学・計算社会科学研究センター・特命教授

研究者番号:60145654

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,300,000円

研究成果の概要(和文):本研究は、人的資本の蓄積をキーワードとして、様々な視点で経済成長をとらえる立体的な構造を有して、経済成長の内生的要因を理解するのが目的である。経済成長モデルで人的資本の役割を理論的に分析し、学校・家庭教育も含めた教育投資の寄与について、実証研究を行う。 具体的には、Akamatsu (1956)が提唱した経済成長の雁行形態論(雁が空に群れを成して飛ぶように、新興工業国が先進国を追って経済発展を遂げていく)に関する論文、学校教育では理数科目の授業時間数の推移と、日本の特許申請数や更新数の関係を調べた論文、個人の異質性については、脳活動の計測によって、思考と行動の個人差について論文にまとめ発表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義 経済成長における人的資本の役割を分析する上で、教育が果たす役割は大きい。教育は、異質な個人に働きか け、全体の達成度に影響するが故に、個人の思考の在り方というミクロと国の経済成長というマクロの橋渡しを する。西村による学校教育の研究はNHK BSプレミアム 「アナザーストーリーズ」で、幸福度の研究は全国紙で 紹介され、大学の一般入試に出題されている。研究開発力の研究は、朝日新聞、JSTの英文、邦文のウェブサイトに紹介された。また、その成果を社会実装し、実際の学校現場で応用し、問題行動の減少と、学力の向上に 貢献もしている。

研究成果の概要(英文): The objective of this study is to understand the endogenous factors of economic growth that capture economic growth from various perspectives, with humancapital accumulation as the keyword. We will theoretically analyze the role of human capital in an economic growth model and conduct empirical research on the contribution of educational investment, including even school and home education. Specifically, we will examine a paper on the geese pattern theory of economic growth proposed by Akamatsu (1956) (newly industrializing countries follow advanced countries in economic development, just as geese fly in flocks in the sky); in school education, we will examine the relationship between the number of hours of classes in science and mathematics subjects and the number of patent applications and renewals in Japan; and in individual Regarding heterogeneity, we presented a paper on individual differences in thinking and behavior by measuring brain activity.

研究分野: 経済学

キーワード: 経済成長 人的資本 異質な経済主体 特許申請数 MEG 研究開発力

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。 以下では、主に、時間選好率が消費に依存する異質な経済主体から成る貿易モデル、経済成長の 雁行形態論に関する論文、学校教育では理数科目の授業時間数の推移と、日本の特許申請数や更 新数の関係を調べた論文を発表した論文、思考と行動の個人差についての脳活動の計測に関す る論文を中心に、背景・目的・結果を説明する。

#### 1.研究開始当初の背景

(1)異質な代表的経済主体が2つ以上存在する2国間国際貿易モデルのような場合に、代表的経済主体の時間割引率(将来における価値を現在の価値に直すときに、どれだけ割り引くかの尺度)が消費に依存して、内生的に決定される場合、長期的定常均衡は、複数存在し、不安定な結果をもたらす可能性がある。そこで、長期的定常均衡が一意的に定まり、鞍点となる結果を生む条件は明らかではなかった。

(2)第二次世界大戦後、世界の所得格差は拡大し、最富裕層と最貧困層の 1 人当たりの実質所得比率は、1960年の 20%以下から、2000年代に入ってからは 50%以上に上昇していることが分かっている。このため、最貧国がなぜ進歩できなかったかをよりよく理解するために、貧困の罠の研究がさらに推進され、より多くの開発経済学者が中所得の罠の可能性に気づいた。それまで急成長していた多くの中所得国が、高所得社会に入る前に低調な成長に苦しむというのである。

中所得国の罠の存在については、Eichengreen, Park and Shin (2013)などによって実証的な証拠が提供されている。彼らの研究では、中所得国の一人当たり実質所得の成長率が、かなりの期間、それまで高成長 (3.5%以上)だった国で実質的に低下 (2%以上)することを中所得の罠と同定している。

しかし、貧困の罠だけでなく、中所得の罠も存在しうるという統一的な理論はまだないと言っても良かった。

(3)経済成長モデルでは、人的資本の蓄積における教育の役割が大きいことは認識されてはいたが、教育のあり方まで、経済学的に議論されることはなかった。しかし、近年の日本において研究開発力が低下していることが、ここ数年の文部科学省の科学技術白書で指摘され、実際に国別の特許出願数の推移をみると、日本の特許出願数は減少し、現在ではアメリカ、中国に後れを取り、韓国との差も無くなっている。また自然科学系論文発表数も、相対的かつ絶対的に減少し、世界のトップレベルから引き離され、日本の研究開発力の低下は一過性のものではない。具体的に、人的資本の蓄積を教育の観点から分析することが望まれている。

(4)教育においては、多様な個人をどう育成するかが重要である。しかし、脳科学においては、個人の多様性よりも、すべての個人に共通の脳活動の計測や解析が主であった。

# 2.研究の目的

- (1)異質な経済主体が共存するモデルとして、国際貿易モデルを例に、時間選好率(将来における価値を現在の価値に直すときに、どれだけ割り引くかの尺度)が内生的に決定されるモデルで、長期定常均衡が一意的に決定され、最適解が長期定常均衡に収束する条件を求める。
- (2)経済成長における人的資本の役割をより明確にする。「中所得の罠」がない場合には、Akamatsu(1962)が指摘した雁行型の発展パラダイム(雁が空に群れを成して飛ぶように、新興工業国が先進国を追って経済発展を遂げていく)が成立し、人間や知識の蓄積の中で技術が時間的にアップグレードしていくようなモデルを想定する。そのモデルにおいて、貧困の罠もまた中所得の罠も存在しうるという資本蓄積の統一的な動学理論を構築する。更に、人的資本、より一般的には知識資本が、中所得の罠の解消に重要な役割を果たすことを、内生的な技術選択を伴う最適成長の枠組みの中で、証明する。
- (3)日本のデータを用いて、これまで行われてきた教育が人的資本の蓄積に与えた影響を実証的に調べる。
- (4)アンケート、実験の結果と、脳活動測定と解析結果を比較することを通じて、異なる個人の 脳活動の違いを明らかにすることで、行動の違いにつなげていく。

## 3. 研究の方法

(1)代表的経済主体の時間割引率が消費の外部性に依存する閉じた 2 部門モデルにおいて、定常解が鞍点となることを確認し、そして、そのモデルを複数主体 (二国)間の国際貿易の動的 Heckscher--Ohlin (H--O)モデルに拡張して、鞍点安定性を持つ一意の自由貿易定常状態が存在する条件を導出した。消費を外部効果として扱ったのは新しい貢献であり、それによって望ましい結果が得られた。

(2)内生的な技術選択を伴う最適成長の枠組みの中で、代表的な経済主体が、予算制約のもとで、生涯効用を最大化し、所得を消費と人的・知識的資本への投資に振り向けるモデルを考える。物的資本への投資はそのストックに 1 対 1 で直接貢献するが、人的資本への投資は知識蓄積技術に大きく依存する。優れた知識蓄積技術は生産性が高いが、導入障壁が高い。このトレードオフの結果、人的資本のストックが高い場合のみ、より優れた技術を採用することができる。

- (3)インターネット調査により、個人が幼児期から大学までに受けた教育と社会に出てからの労働生産性、研究開発力、幸福度との関係についての実証分析を行った。
- (4)個人の脳活動計測を含めた神経経済学的な分析を行うために、産業技術総合研究所の MEG の機器を使用し共同研究を行った。

## 4. 研究成果

#### (1)多数経済主体と動学的均衡

代表的経済主体の時間割引率(将来における価値を現在の価値に直すときに、どれだけ割り引くかの尺度)が消費の外部性(自分が選べない、他の経済主体の選ぶ変数の持つ性質)に依存する閉じた2部門モデルにおいて、定常解が鞍点となることを確認し、そして、そのモデルを複数主体(二国)間の国際貿易の動学的一般均衡モデル(Heckscher--Ohlin モデル)に拡張して、鞍点安定性を持つ一意の自由貿易定常状態が存在する条件を導出した。この論文は、2021年のInternational Journal of Economic Theory に掲載された。

#### (2)経済発展の理論と人的資本

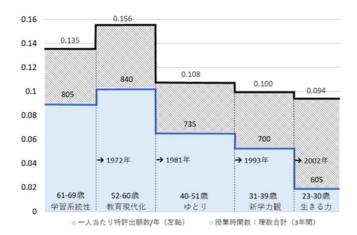
内生的な技術選択と人的・知識的資本蓄積を伴う単一の最適成長モデルで、貧困の罠、中所得の 罠、雁行的成長などの均衡発展の形態を説明することができた。我々は、それぞれの成長形態を 説明する主要要因として、既存技術の生産性、改良された技術の生産性、技術改良の障壁などに よって、様々な成長形態を説明することが出来た。この論文は、2022 年の *Economic Theory* に 掲載された。

## (3)理数科目授業時間数と日本の特許出願数の推移

我々は、戦後に実施された5つの学習指導要領を取り上げ、それぞれの指導要領によって定められる中学時代の理数科目の授業時間数が、特許などの研究開発成果に及ぼす影響を、2016年と2020年の二度に渡って調査分析した。

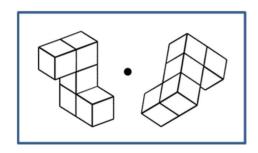
年齢別の特許出願数を 2016 年に調査したデータと 2020 年に調査したデータで比較すると、2016 年のデータでは、2016 年時点で 43 歳前半より若い年齢層で出願数が急激に減少し、2020年調査データでは、2020年時点で 47 歳あたりより若い年齢層で急激に出願数が減少する。2016年のグラフを右に 4年ずらして、2020年のグラフとの相関係数を測定したところ 0.923と極めて強い相関が示され、二つのグラフがほぼ同じ右上がりの形をしていて、4年のラグをもって重なることが確認できた。グラフは、単なる年齢効果以上の違いを表し、中学時代の3年間ゆとり教育を受けた世代と、それより上の世代での、特許出願数の大きな違いを表すことになる。より具体的な関係を確認するために、学習指導要領ごとの一人当たりの特許出願数と理数科目

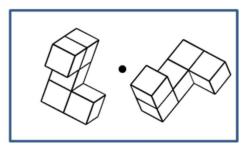
より具体的な関係を確認するために、学習指導要領ごとの一人当たりの特許出願数と理数科目の授業時間数のグラフを描いてみると、指導要領の変更とともに生じる授業時間数、特許出願数の二変数が、強い相関関係にあることがわかる。この論文は 2022 年に、*Humanities & Social Sciences Communications*, Springer Nature に掲載された。



# (4)メンタルローテーション能力及び自発的脳活動における個人差

本研究では、右図のような一対の 3 次元図形が(a)回転対称であるか、(b)鏡像の関係であるかを判別するメンタルローテーション課題の正答率により被験者を、正答率の高いグループ(Group S)と、正答率の低いグループ(Group N)に分け、メンタルローテーション課題中の脳活動および何も見ずに思い出すことでイメージする自発的メンタルイメージ課題中の脳活動のグループ間比較を、脳磁計による計測(MEG)によりおこなった。メンタルローテーションの得意なグループの脳活動と、不得意なグループの脳活動には有意な違いがあり、被験者間の成績の個人差が、自発脳活動の課題提示に同期した変化の強度と高い相関があることが明らかになった。この論文は 2020 年の NeuroReport に掲載された。





## <引用文献>

©Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura," Time preference and two-country trade", *International Journal of Economic Theory17*, no 1, March, 2021

Eichengreen, B., D. Park and K. Shin, 2013, Growth Slowdowns Redux: New Evidence on the Minndle-Income Trap. *NBER Working Paper* 18673.

Akamatsu, K., 1962. "A Historical Pattern of Economic Growth in Developing Countries," *The Developing Economies* 1 (March-August): 3-25.

Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang," Flying or trapped?" *Economic Theory*, 30 January 2022,

Nishimura, K. Miyamoto, D. and T. Yagi "Japan's R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects," *Humanities & Social Sciences Communications*, Springer Nature, 2022,

Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Sunao Iwaki, "Mental rotation ability and spontaneous brain activity: A magnetoencephalography study," *NeuroReport* 31, no13, 999-1005, 2020

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計59件(うち査読付論文 51件/うち国際共著 18件/うちオープンアクセス 11件)

1. 著名名 Nishinura, Miyanoto and Yagi,  2. 論文梓題 "Japan's R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects." 3. 積起名 Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature,	〔雑誌論文〕 計59件(うち査読付論文 51件/うち国際共著 18件/うちオープンアクセス 11件)	
Nishimura, Miyamoto and Vagi,   9   2 . 論文梓題	1 . 著者名	4 . 巻
"Japan's R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects," 3. 摘録名 Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature, 1-9  指戴論文のDDI (デジタルオプジェクト類別子) 1. 音名名	Nishimura, Miyamoto and Yagi,	
"Japan's R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects," 3. 摘録名 Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature, 1-9  指戴論文のDDI (デジタルオプジェクト類別子) 1. 音名名	2 論文種頭	5 発行在
subjects, " Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature,    日報論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)   1.9		
3 ・ 能試名	Subjects 7	2022+
Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature,  1-9  提載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1057/s41599-022-01234-0  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Kazunichi Iwasa and Kazuo Nishimura,  2. 論文榜題 International Journal of Economic Theory  3. 解誌名 International Journal of Economic Theory  超議論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/ijet.12324  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  4. 巻 75  1. 著名名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2. 論文榜題 Flying or trapped?"  3. 雑誌名 Economic Theory,  3. 雑誌名 Economic Theory,  2. 語文榜題 Economic Theory,  3. 雑誌名 Economic Theory,  2. 語文榜題	, ,	6 見知と見後の百
函数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   直続の有無 有		
1. 著名名	Humanities & Social Sciences Communications, Springer Nature,	1-9
1. 著名名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
1 - 著名名 Kazunichi Iwasa and Kazuo Nishimura, 2 - 論文標題 International Journal of Economic Theory 3 - 雑誌名 International Journal of Economic Theory  超数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1 - 著名名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang, 2 - 論文標題 Flying or trapped? 3 - 建設合 Economic Theory, 3 - 建設合 Economic Theory 5 - 発行年 6 - 最初と最後の頁 607-623 607-62		
1 . 著名名 Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, 2 . 論文標語 "Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption." 3 . 雑誌名 International Journal of Economic Theory 3 . 雑誌名 International Journal of Economic Theory 4 . 一プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「日本 「「「デジタルオプジェクト識別子」」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」 「「「「「「	10.1037/341333-022-01234-0	i i i
1 . 著名名 Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, 2 . 論文標語 "Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption." 3 . 雑誌名 International Journal of Economic Theory 3 . 雑誌名 International Journal of Economic Theory 4 . 一プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「日本 「「「デジタルオプジェクト識別子」」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」 「「「「「「	オーゴンアクセス	国際共著
1. 著名名   4. 巻   18. Issue 4.   2. 論文標題 **Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption.**   5. 発行年   2021年   2021年   5. 発行年   2021年   3. 雑誌名   International Journal of Economic Theory   6. 最初と最後の頁   607-623   7.   7.   7.   7.   7.   7.   7.   7		国际六省
Razumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, 18, Issue 4, 2. 論文標題 "Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption," 2. 発行年 2021年 3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory 6. 最初と最後の頁 607-623 6. 最初と最後の頁 607-623 7. 世界観論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 7. 1111/1jet.12324 7. 世界ではない、又はオープンアクセスが困難 7. 世界では、アレックセスではない、又はオープンアクセスが困難 7. 世界では、アレックセスではない、又はオープンアクセスが困難 7. サージン標題 7. 第一次の前に Theory, 7. 1111/1jet.12324 7. 1111/1jet.1232	オープンアグセスとしている(また、その予定である)	-
Razumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, 18, Issue 4, 2. 論文標題 "Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption," 2. 発行年 2021年 3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory 6. 最初と最後の頁 607-623 6. 最初と最後の頁 607-623 7. 世界観論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 7. 1111/1jet.12324 7. 世界ではない、又はオープンアクセスが困難 7. 世界では、アレックセスではない、又はオープンアクセスが困難 7. 世界では、アレックセスではない、又はオープンアクセスが困難 7. サージン標題 7. 第一次の前に Theory, 7. 1111/1jet.12324 7. 1111/1jet.1232		. 24
2 .論文標題		
"Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption,"  2021年  3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory  6. 最初と最後の頁 607-623  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12324  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yunlang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2. 論文標題 "Flying or trapped?"  5. 発行年 2022年  3. 雑誌名 Economic Theory,  6. 最初と最後の頁 341-388  北田初次のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセス  オープンアクセス  オープンアクセス  「国際共著 接当する  1. 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  5. 発行年 2021年  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  西談の有無  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)  西談の有無	Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura,	18, Issue 4,
"Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption,"  2021年  3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory  6. 最初と最後の頁 607-623  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12324  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yunlang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2. 論文標題 "Flying or trapped?"  5. 発行年 2022年  3. 雑誌名 Economic Theory,  6. 最初と最後の頁 341-388  北田初次のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセス  オープンアクセス  オープンアクセス  「国際共著 接当する  1. 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  5. 発行年 2021年  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  西談の有無  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)  西談の有無		5 . 発行年
8 ・ 最初と最後の頁 607・623 を	·····	
International Journal of Economic Theory  超載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12324  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2. 論文標題 "Flying or trapped?"  3. 雑誌名 Economic Theory,  超載のクDDI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  5. 発行年 2021年  4. 巻 - 2021年  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  - 音読の有無 - 2031年  - 2031年  - 3. 雑誌名 - 303-321  - 2. 論文標題 "Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, - 音読の有無 - 2031年  - 2033-321  - 2. 過数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) - 2. 過数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) - 2. 過数論表の有無	macterismically in a source with Froduction Externality and inferiority in consumption,	20214
International Journal of Economic Theory  超載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12324  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2. 論文標題 "Flying or trapped?"  3. 雑誌名 Economic Theory,  超載のクDDI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  5. 発行年 2021年  4. 巻 - 2021年  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  - 音読の有無 - 2031年  - 2031年  - 3. 雑誌名 - 303-321  - 2. 論文標題 "Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, - 音読の有無 - 2031年  - 2033-321  - 2. 過数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) - 2. 過数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) - 2. 過数論表の有無		6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
1. 計・対シアクセス	The matterial southar of Economic Theory	007-023
1. 計・対シアクセス	掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト幾即子)	本芸の右無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 - 著者名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang, 75		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1 . 著者名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,	10.1111/IJet.12324	1月
### ### #############################	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2 . 論文標題 "Flying or trapped?"  3 . 雑誌名 Economic Theory,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2 . 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)  2 . 最初と最後の頁 303-321  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)  2 . 最初の有無		
Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2.論文標題 "Flying or trapped?"  3.雑誌名 Economic Theory,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2.論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  看載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	コーノンティ ころ こ ころく ころ こう こう こう こう こう 日 四 元	_
Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang,  2.論文標題 "Flying or trapped?"  3.雑誌名 Economic Theory,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2.論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  看載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	1 苯字夕	1
2. 論文標題	—	_
### State ###	runtang Hu, Takuma kunteda, kazuo Nishimura and Ping Wang,	75
### State ###	2 論文煙顊	5 発行任
3.雑誌名 Economic Theory,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4  オープンアクセス  国際共著  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無		
Batiming Theory, 341-388  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	riying or trapped?	20224
Batimic Theory, 341-388  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	3 雑誌夕	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-021-01402-4 有 オープンアクセス  コ際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コミオ名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2.論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無		
10.1007/s00199-021-01402-4 有 オープンアクセス  I 国際共著  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2.論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無	Economic ineory,	341-388
10.1007/s00199-021-01402-4 有 オープンアクセス  I 国際共著  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2.論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無	担却公立の101/ごごカリナブご カレ 並叫フト	本芸の左無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, 4 . 巻 - 2 . 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	10.1007/s00199-021-01402-4	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, 4 . 巻 - 2 . 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	ナーゴンマクセフ	国際共革
1 . 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,  2 . 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無		
Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, - 2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3. 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	<b>オーノファクセスではない、又はオープンアクセスか困難</b>	該ヨ98
Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, - 2. 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	4 英名	1 4 <del>Y</del>
2 . 論文標題 "Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		4 . 夸
"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi,	-
"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 2021年  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		C ※分字
3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	2 给补插的	
in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy, 303-321 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"	2021年
	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan," 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
40,4007/070,004,46,6707,6,40	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,	2021年 6 . 最初と最後の頁 303-321
10.1007/976-961-10-5727-0_13	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3 . 雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,	2021年 6 . 最初と最後の頁 303-321
オープンマクセフ 国際仕芸	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,	2021年 6 . 最初と最後の頁 303-321
オープンアクセス   国際共者   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   -	"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"  3.雑誌名 in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-16-5727-6_13	2021年 6.最初と最後の頁 303-321 査読の有無 有
71 = 7 7 7 7 7 8 1 1 2 1 2 1 = 7 7 7 7 1 8 7 1 NIEH	<ul> <li>"Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability An Empirical Study in Japan,"</li> <li>3.雑誌名         in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)         10.1007/978-981-16-5727-6_13</li> <li>オープンアクセス</li> </ul>	2021年 6.最初と最後の頁 303-321 査読の有無

1 菜2勺	1 2 <del>2</del> 2
1 . 著者名 Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Dai Miyamoto,	4.巻
2.論文標題	5 . 発行年
"Education Policy and Behavioral Change in Science Learning—;An empirical analysis based on	2021年
Japanese data, "	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
in Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy,	323-340
日書公立のDOL(デジカリナイジュカー 並叫フト	<u> </u>   査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1007/978-981-16-5727-6_14	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ***	1 . 44
1 . 著者名	4 . 巻
Kazuo Nishimura,	-
2.論文標題	5 . 発行年
" David Pines and Me, "	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Creative Complex Systems,	3-16
	<u></u> 査読の有無
10.1007/978-981-16-4457-3_1	有
10.1007/010 001 10 1101 0_1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1 . 24
1 . 著者名	4 . 巻
Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura,	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
² ・神ス作表題 " Pollution, Human Capital, and Growth Cycles, "	2021年
Tottation, number outsitus, and oroman oyoroo,	20217
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Creative Complex Systems,	85-99
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
司事が開来のDOT ( ブラブルオラフエット 高級の J ) 10.1007/978-981-16-4457-3_6	有
10.1007/010 007 10 4401 0_0	ļ ,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 菜耂夕	
1 . 著者名 Ichiroh Daitoh and Kazuo Nishimura,	4.巻
TOTITOTI PATTOTI AND NAZUO NISHINDIA,	_
2 . 論文標題	5.発行年
" Productive Consumption in a Two-Sector Model of Economic Development,"	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	101 - 111
Creative Complex Systems,	
Creative Complex Systems,	
	査読の有無
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	   査読の有無     有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	

1.著者名	4 . 巻
	196
Tomoo Kikuchi, Kazuo Nishimura, John Stachurski and Junnan Zhang	196
2.論文標題	5 . 発行年
"Coase Meets Bellman: Dynamic Programming for Production Networks"	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	0.取物と取扱の貝
Journal of Economic Theory	-
•	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jet.2021.105287	
10.1016/j.jet.2021.10528/	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
4 ***	4 344
1.著者名	4 . 巻
Stefano Bosi, Teresa Lloyd-Braga and Kazuo Nishimura	112
oterano Boot, Teresa Eroya Braga ana Nazao Mishimara	
2 . 論文標題	5.発行年
"Externalities of human capital,"	2021年
externationes of numban capital,	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
*****	
Mathematical Social Sciences	145-158
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.mathsocsci.2021.03.013.	有
10.1010/j.mathsocsc1.2021.03.013.	·Fi
オープンアクセス	国際共著
=	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4.巻
Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura,	17
,	
2 . 論文標題	5 . 発行年
" Time preference and International trade "	2021年
Time preference and international trade	20214
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	0 . 40 // 0 40 // 0
International Journal of Economic Theory	-
In this is a second of the sec	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ijet.12291	有
	·FI
10.1111/1jet.12231	
10.1111/1]01.12231	
	国際共著
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス	国際共著
・ オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 - 4.巻
・ オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	-
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,	4 . 巻
オープンアクセス	-
オープンアクセス	- 4.巻 - 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題 "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object	4 . 巻
オープンアクセス	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセス	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題 "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名	- 4.巻 - 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題 "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセス	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセス	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題 "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名	- 4.巻 - 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     " Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.13140/RG.2.2.30759.37282	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.13140/RG.2.2.30759.37282	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Goro Kato and Kazuo Nishimura,  2 . 論文標題     "Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence —; An initial object sheaf hypothesis and its consequence,"  3 . 雑誌名 Journal of Integrated Creative Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.13140/RG.2.2.30759.37282	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -

1 . 著者名	4.巻
Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Makoto Yano	-
2.論文標題	5
	5.発行年
"Parenting methods in relation to norm awareness, social success, and perspectives of family	2020年
in adulthood, "	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Computational Social Science	-
日栽公立のDOL / ごごカリナゴご - カト逆回フト	木柱の左征
<b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b>	査読の有無
10.1007/s42001-020-00077-6	有
<b>†</b> − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	I
	4 . 巻
Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Sunao Iwaki	31
mass monimula, landam nom, mioniyo magama, losimasa losimaga alia bullab imani	
	5.発行年
"Mental rotation ability and spontaneous brain activity: A magnetoencephalography study,"	2020年
mentar rotation ability and spontaneous brain activity. A magnetoencephalography Study,	20204
B.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
NeuroReport	999-1005
nour onopor t	300 1000
	<u> </u>
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1097/WNR.00000000001511	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. 著者名	4 . 巻
Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Dai Miyamoto,	9
•	
2.論文標題	5 . 発行年
"Education for Enhancing the Abilities of Engineers - A Survey Conducted in Japan and its	2020年
Analyses - "	1
3.雑誌名	6.最初と最後の百
	6.最初と最後の頁 37-46
5.雑誌名 Journal of Education and Learning	6.最初と最後の頁 37-46
Journal of Education and Learning	37-46
Journal of Education and Learning	
Journal of Education and Learning	37-46
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37	37-46 査読の有無 有
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37	37-46 査読の有無
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37	37-46 査読の有無 有
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	37-46 査読の有無 有 国際共著
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名	37-46 査読の有無 有 国際共著 -
Journal of Education and Learning 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	37-46 査読の有無 有 国際共著
Journal of Education and Learning  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti	37-46 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1
Journal of Education and Learning    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  ープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti  . 論文標題	37-46 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1
Journal of Education and Learning    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	37-46 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1
Journal of Education and Learning  郵輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  エープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti  . 論文標題 A theory of heterogeneous city growth	37-46  査読の有無 有 国際共著 -  4 . 巻 16,No.1  5 . 発行年 2020年
Journal of Education and Learning    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  コープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti  . 論文標題 A theory of heterogeneous city growth  . 雑誌名	37-46 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1
Journal of Education and Learning  郵輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  エープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti  . 論文標題 A theory of heterogeneous city growth	37-46  査読の有無 有 国際共著 -  4 . 巻 16,No.1  5 . 発行年 2020年
Journal of Education and Learning    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v9n3p37  コープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti  . 論文標題 A theory of heterogeneous city growth  . 雑誌名	37-46  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Journal of Education and Learning    記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	37-46  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 37-37
Journal of Education and Learning	37-46
Journal of Education and Learning    記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	37-46  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16,No.1  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 37-37
Journal of Education and Learning    調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.5539/jel.v9n3p37	37-46
	37-46

4 英老权	л <del>У</del>
1 . 著者名 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi	4. 巻 Vol. 6: No. 4,
2.論文標題	5.発行年
Happiness and Self-Determination-An Empirical Study in Japan	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Review of Behavioral Economics	pp 385-419
NOTION OF BUILDING ESSION FOR	pp 000 110
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1561/105.00000113	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
Takaaki Aoki, Kazuo Nishimura and Makoto Yano	23, Issue 4
2.論文標題	5.発行年
Two-sided altruism and time inconsistency	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1515/snde-2019-0022	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Nishimura, Kazuo and Tadashi, Shigoka	23, Issue 4
2.論文標題	5 . 発行年
Hopf bifurcation and the existence and stability of closed orbits in three-sector models of optimal endogenous growth	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1515/snde-2019-0017	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
Kazuo Nishimura and Makoto Yano	Volume 15, No 3
2.論文標題	5.発行年
In Memoriam: Professor Tapan Mitra	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	229
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1111/ijet.12231	無
10.1111/1]61.12231	
オープンアクセス	国際共著

1.著者名	4.巻
Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura	Volume 15, No 3
2 . 論文標題	5.発行年
Endogenous Business Cycles in a Perpetual Youth Model with Financial Market Imperfections	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	231-248
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ijet.12233	有
	F Day 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii, Takashi Kamihigashi, Kazuo Nishimura	1905
Nen-Telli Akao, III tosii Tsiiri, Takasii Naiiii yasii, Nazuo Nisiiiilida	1000
2.論文標題	F 整仁在
	5.発行年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Pure and Applied Functional Analysis	1-26
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
岩佐和道	221 (3)
	221 (3)
2 . 論文標題	5.発行年
貿易と大域的不決定性	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国民経済雑誌	71-82
— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Yunfang Hu, Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Ping Wang	
randing ma, randing narroad, nazoo maining and ring nang	
2 54.	F 整仁在
2. 論文標題	5.発行年
Flying or Trapped?	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Working Paper	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	++ 1/ - <del></del>
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1.著者名	4 . 巻
Ichiroh Daitoh and Kazuo Nishimura	-
2 经办证的	5 発仁在
2.論文標題	5.発行年
Productive Consumption Externality in a Two-Sector Model of Economic Development	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Working Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
	無
4 U	<del>///</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
西村和雄、八木匡	18-J-026
2.論文標題	
「幸福感と自己決定 日本における実証研究」	2018年
	2010 1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
4. U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Cheron Arnaud, Kazuo Nishimura, Carine Nourry, Thomas Seegmuller, and Alain Venditti	51, no.2-3,
2.論文標題	
Growth and Public Debt: What are the relevant Tradeoffs?	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Money, Credit and Banking	655-682
coarra. or more), croarr and ramming	333 332
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
	査読の有無
10.1111/jmcb.12543	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura	22
2.論文標題	
A Two- Sector Growth Model with Credit Market Imperfections and Production Externalities	2018年
A 1wo- Sector Growth woder with Great market imperfections and Production externalities	20104
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Advances in Mathematical Economics,	117-137,
	,
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
10.1007/978-981-13-0605-1_5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

. ***	
1.著者名	4.巻
Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura	8, Issue 3
2. 論文標題	5.発行年
Finance and Economic Growth in a Dynamic Game	2018年
Thance and Economic Growth in a Dynamic Same	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Dynamic Games and Applications	588-600
<u></u> 掲載論文のDOⅠ(デジタルオプジェクト識別子)	   査読の有無
10.1007/s13235-018-0249-7	有
10.1007/\$13233-010-0243-7	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Akihisa Shibata	56
2.論文標題	5.発行年
2 · 嗣文信录題   Specializations, financial constraints, and income distribution	2018年
opecializations, illiancial constraints, and income distribution	20104
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
International Review of Economics and Finance	3-14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1016/j.iref.2018.03.012	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
Tomoo Kikuchi, Kazuo Nishimura and John Stachurski	13. Issue2
2.論文標題	F ※/= 年
	5 . 発行年
Span of Control, Transaction Costs and the Structure of Production Chains	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Theoretical Economics,	729-760
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
掲載論又のDUI(テンタルオフシェクト識別士) 10.3982/TE2376	
10.3902/1623/0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1. 著者名	4 . 巻
KAMIHIGASHI Takashi, STACHURSKI John	-
2.論文標題	5.発行年
A Unified Stability Theory for Classical and Monotone Markov Chains	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Applied Probability	-
<del></del>	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1017/jpr.2019.2	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	10 - 1 - 0

	I . w
1 . 著者名 Kazumichi Iwasa, Kazuo Nishimura, and Makoto Yano	4.巻 Vol.15・Issue 1
2、4544.1411111111111111111111111111111111	F マシゾニ/エ
2.論文標題	5.発行年
Trade and indeterminacy revisited	2019年
	6 BARLEWST
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	37-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ijet.12205	有
-t -f\	同 <b>你</b> + 苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Kazumichi Iwasa and Gerhard Sorger	Vol.78
O **A-A	F 361-7-
2.論文標題	5.発行年
Periodic Solutions of the One-sector Growth Model: The Role of Income Effects	2018年
0 hb+h/7	C 87718/407
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Mathematical Economics	59-63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	☆読の有無
10.1016/j.jmateco.2018.07.008	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンデクセスとはない、大はオープンデアセスが四乗	談当する
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Jess Benhabib, Kazuo Nishimura and Makoto Yano,	15, Number 1, Wiley
2.論文標題	- 発仁生
	5.発行年
Market Frictions in Macroeconomic Dynamics: A Special Issue in Honor of Roger Farmer,	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
- <del></del>	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Cheron ARNAUD, Kazuo NISHIMURA, Carine NOURRY, Thomas SEEGMULLER, and Alain VENDITTI	印刷中
The state of the s	
2 . 論文標題	5.発行年
Growth and Public Debt: What are the Relevant Tradeoffs?	2018年
טוטיינוו מווע ו שטווט שפטנ. יווומנ מופ נוופ ולפופימוול וומעפטווס!	2010-
2 株社夕	6.最初と最後の頁
.) . THON TO	
3. 雜誌台 Journal of Money, Credit and Banking	印刷中
	以例中   
Journal of Money, Credit and Banking 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
Journal of Money, Credit and Banking	
Journal of Money, Credit and Banking 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jmcb.12543	査読の有無
Journal of Money, Credit and Banking 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無有

1 著名名 Takuma KUNIEDA, Kazuo NISHIMURA and Akihisa SHIBATA 2 . 論文標題 Specializations, Financial Constraints, and Income Distribution 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 International Review of Economics & Finance 6 . 最初と最後の頁 ED刷中  相数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.iref.2018.03.012  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA 2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game 3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  相談論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス  オープンアクセス  国際共著  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  日朝中  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA 2 . 論文標題 日前中  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Two- Sector Growth Model with Credit Market Imperfections and Production Externalities  5 . 発行年 2018年
2 . 論文標題 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 International Review of Economics & Finance EDIRTOPE TO THE PROPERTY OF THE P
Specializations, Financial Constraints, and Income Distribution 2018年  3. 雑誌名 International Review of Economics & Finance 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
Specializations, Financial Constraints, and Income Distribution 2018年  3. 雑誌名 International Review of Economics & Finance 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
3 . 雑誌名 International Review of Economics & Finance 日報 開文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.iref.2018.03.012 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難
International Review of Economics & Finance   印刷中   印刷中   日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
International Review of Economics & Finance   印刷中   印刷中   日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
10.1016/j.iref.2018.03.012   有
10.1016/j.iref.2018.03.012   有
10.1016/j.iref.2018.03.012   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  「印刷中  「表読の有無 「10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 印刷中  「意読の有無 有  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 5 . 発行年
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 5 . 発行年
1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4 . 巻 印刷中         2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications       6 . 最初と最後の頁 印刷中         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1007/s13235-018-0249-7       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 Vol.22         1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       5 . 発行年
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年  2018年  6 . 最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  4 . 巻 Vol.22
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題 Finance and Economic Growth in a Dynamic Game  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年  2018年  6 . 最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  4 . 巻 Vol.22
2 . 論文標題       5 . 発行年         Finance and Economic Growth in a Dynamic Game       5 . 発行年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         Dynamic Games and Applications       百郎刷中         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1007/s13235-018-0249-7       有         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名       4 . 巻         Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4 . 巻         2 . 論文標題       5 . 発行年
Finance and Economic Growth in a Dynamic Game 2018年  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications 6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7 7 有  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA 4 . 巻 Vol.22  2 . 論文標題 5 . 発行年
Finance and Economic Growth in a Dynamic Game 2018年  3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications 6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7 7 有  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA 4 . 巻 Vol.22  2 . 論文標題 5 . 発行年
3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年
3 . 雑誌名 Dynamic Games and Applications  6 . 最初と最後の頁 印刷中  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年
Dynamic Games and Applications       印刷中         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1.著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4.巻 Vol.22         2.論文標題       5.発行年
Dynamic Games and Applications       印刷中         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13235-018-0249-7       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1.著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4.巻 Vol.22         2.論文標題       5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
10.1007/s13235-018-0249-7       有         オープンアクセス       国際共著         1.著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4.巻 Vol.22         2.論文標題       5.発行年
10.1007/s13235-018-0249-7       有         オープンアクセス       国際共著         1.著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4.巻 Vol.22         2.論文標題       5.発行年
10.1007/s13235-018-0249-7       有         オープンアクセス       国際共著         1.著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA       4.巻 Vol.22         2.論文標題       5.発行年
オープンアクセス 国際共著 - 1.著者名 4.巻 Vol.22 2.論文標題 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA4 . 巻 Vol.222 . 論文標題5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA 4 . 巻 Vol.22 2 . 論文標題 5 . 発行年
1 . 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA  2 . 論文標題  5 . 発行年
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA Vol.22 2 . 論文標題 5 . 発行年
Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA Vol.22 2 . 論文標題 5 . 発行年
2 . 論文標題 5 . 発行年
Two- Sector Growth Model with Credit Market Imperfections and Production Externalities 2018年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
Advances in Mathematical Economics 印刷中
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
10.1007/978-981-13-0605-1 5
18.135.135 001 10 0000 1_0
オープンアクセス 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -
コーノファフ にろ Clack い、 入 laca ニフファフ に 入 Ji 凹 独
4 艾达67
1. 著者名 4. 巻
Kazuo NISHIMURA, Junichi HIRATA, Tadashi YAGI, Junko URASAKA
2.論文標題 5.発行年
Science Subjects Studied and Relation to Income after University Graduation-An Empirical 2018年
Analysis in Japan
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
Journal of Higher Education Theory and Practice 印刷中
DOMESTIC OF THE POLICE ENGINEER OF THE POLICE TO THE POLIC
Uning the first content of th
Souther of higher Education meory and fractice PMPT
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.33423/jhetp.v18i1.534 有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   査読の有無

1 . 著者名	4 . 巻
Shin-Ichiro KUMAMOTO、Takashi KAMIHIGASHI	6
2 . 論文標題 Power Laws in Stochastic Processes for Social Phenomena: An Introductory Review	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Frontiers in Physics	6.最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphy.2018.00020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Carmen CAMACHO, Takashi KAMIHIGASHI, Cagri SAGLAM	174
2 . 論文標題 Robust Comparative Statics for Non-Monotone Shocks in Large Aggregative Games	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Economic Theory	6.最初と最後の頁 288~299
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2017.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
	4 244
1.著者名 Jinhui CHEN, Tetsuya TAKIGUCHI, Yasuo TAKATSUKI, Munehiko ITOH, and Takashi KAMIHIGASHI	4.巻 1
2 . 論文標題 An AI-Based Approach to Auto-Analyzing Historical Handwritten Business Documents: As Applied to the Kanebo Database	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Computational Social Science	6.最初と最後の頁 167~185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42001-017-0009-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 岩佐和道	4 . 巻 第217 巻2号
2 . 論文標題 南北貿易モデルにおける不決定性の発生	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 国民経済雑誌	6.最初と最後の頁 89-99
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4.巻
I. 省省名 Tomoo KIKUCHI, Kazuo NISHIMURA and John STACHURSKI	4.5   印刷中
2.論文標題	5.発行年
Span of Control, Transaction Costs and the Structure of Production Chains	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Theoretical Economics	1 ~ 32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.3982/TE2376	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4.巻
Goro KATO and Kazuo NISHIMURA	Vol.11 No.2
2 . 論文標題	5 . 発行年
An Integrated Brain Function -Sheaf Theoretic Approach to Brain as a Conscious Entity	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Annals of Cognitive Science	39-43
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Takaaki AOKI and Kazuo NISHIMURA	27
2 . 論文標題	5.発行年
Global Convergence in an Overlapping Generations Model with Two-Sided Altruism	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Evolutionary Economics	1205 ~ 1220
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1007/s00191-017-0519-3	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Takashi KAMIHIGASHI	91
2.論文標題	5 . 発行年
A Simple Optimality-Based No-Bubble Theorem for Deterministic Sequential Economies with Strictly Monotone Preferences	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Mathematical Social Sciences	36 ~ 41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.mathsocsci.2017.10.006	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名 Kazuo NISHIMURA and Tadashi YAGI	4.巻 Vol. 7, No. 1
2.論文標題 How Parenting Affects Children's Futures: Empirical Study in Japan	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Journalism and Mass Communication	6.最初と最後の頁 35-45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17265/2160-6579/2017.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	T
1. 著者名 Takuma KUNIEDA and Kazuo NISHIMURA	4. 巻 Vol.6 No.4
2.論文標題 Consumption Externalities and Indeterminacy in a Continuous-Time Two-Sector Growth Model	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 International Journal of Dynamical Systems and Differential Equations	6.最初と最後の頁 358-368
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1504/IJDSDE.2016.10002720	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ***	1 4 24
1.著者名 Hiromi MURAKAMI, Kazuo NISHIMURA and Tadashi SHIGOKA	4. 巻
2. 論文標題 Homoclinic Orbit and Stationary Sunspot Equilibrium in a Three-Dimensional Continuous-Time Model with a Predetermined Variable	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont, Edited by Kazuo Nishimura, Alain Venditti, and Nicholas C. Yannelis, Springer	6.最初と最後の頁 175-200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1007/978-3-319-44076-7_8	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Kazuo NISHIMURA , Alain VENDITTI and Nicholas C. YANNELIS	4 . 巻
2.論文標題 Introduction	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont, Edited by Kazuo Nishimura, Alain Venditti, and Nicholas C. Yannelis, Springer	6 . 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

	<b>A</b> 类
1 . 著者名 Kazuo NISHIMURA and Tadashi SHIGOKA	4.巻   1
Nazuo Monimuna and Tadasin Sinona	'
2.論文標題	5.発行年
An alternative proof of the theorem of Woodford on the existence of a sunspot equilibrium in a	2016年
continuous-time model	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	23-32
Essays in Economic Dynamics: Theory, Simulation Analysis, and Methodological Study, ed. by Matsumoto, Szidarovszky and Asada, Springer	23-32
matsumoto, sztuarovszky and Asada, springer	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u> </u>
なし	有
A U	[
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六省
オーノンアグピスとはない、大はオーノンアグピスが四世	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Frederic DUFOURT, Kazuo NISHIMURA and Alain VENDITTI	1
	5 28/- F
2 . 論文標題	5.発行年
Sunspot fluctuations in two-sector models with variable income effects	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont, Edited by Kazuo	71-96
Nishimura, Alain Venditti, and Nicholas C. Yannelis, Springer	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-3-319-44076-7_4	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Kazuo NISHIMURA, Carine NOURRY, Thomas SEEGMULLER and Alain VENDITTI	20, no. 2
2.論文標題	5 . 発行年
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents	2016年
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents	
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents	2016年 6.最初と最後の頁
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents	
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3 . 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)	6.最初と最後の頁 504-524
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3 . 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)	6 . 最初と最後の頁 504-524
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3 . 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 西村和雄、八木匡  2 . 論文標題	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3.雑誌名 RIETI Discussion Paper	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1-24
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3 . 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 西村和雄、八木匡  2 . 論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16-J-048 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1-24
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3. 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 西村和雄、八木匡  2. 論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6 . 最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16-J-048 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1-24
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3. 雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/\$1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 西村和雄、八木匡  2. 論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16-J-048 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1-24
Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents  3.雑誌名 Macroeconomic Dynamics(Cambridge University Press)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1365100514000078  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 西村和雄、八木匡  2.論文標題 子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 - 日本における実証研究 -  3.雑誌名 RIETI Discussion Paper	6.最初と最後の頁 504-524 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16-J-048 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1-24

1 . 著者名	4 . 巻
Toshihiko ASO, Kazuo NISHIMURA,Takashi KIYONAKA, Takaaki AOKI, Michiyo INAGAWA, Masao MATSUHASHI, Yoshikazu TOBINAGA and Hidehiko FUKUYAMA	4 · 돌 6(8)
2. 論文標題	5.発行年
Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression	2016年
byfiamic interactions of the contreal networks during thought suppression	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	0.取別と取扱の貝
Brain and Behaviour	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1002/brb3.503	有
10.1002/3130.000	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
Kazuo NISHIMURA, Takaaki AOKI, Michiyo INAGAWA, Yoshikazu TOBINAGA, Sunao IWAKI	Vol.2
2.論文標題	5.発行年
Individual Differences in Mental Imagery Tasks: A Study of Visual Thinkers and Verbal Thinkers	2016年
marviadar strictorioco in montar imagery rasko. A stady of visuar infiniters and versar infiniters	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	0.取別と取扱の員
Neuroscience Communications	-
In which is a second of the se	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.14800/nc.1126	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Takashi KAMIHIGASHI and Masayuki YAO	Vol. 65 Issue 10
Takasiii kawiiiitoasiii aliu wasayuki Tao	voi. 05 135ue 10
3	г эк/= <i>-</i>
2.論文標題	5 . 発行年
Infinite-Horizon Deterministic Dynamic Programming in Discrete Time: A Monotone Convergence	2016年
Principle and a Penalty Method	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Optimization	1899-1908
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/02331934.2016.1193737	有
10.1000/02331934.2010.1193/3/	; <del>i</del>
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
〔学会発表〕 計7件(うち招待講演 4件/うち国際学会 6件)	
1. 発表者名	
Kazuo Nishimura	
NOZO NIOTIMITA	
N. H. F. F.	
2 . 発表標題	
Lionel McKenzie Lecture: "Technology Choice and Flying Geese Paradigm"	

3 . 学会等名

4 . 発表年 2021年

The 20th Annual SAET Conference (招待講演) (国際学会)

1.発表者名
西村和雄
「Flying or Trapped?」
3 . 学会等名
International Conference on Trade, Financial Integration and Macroeconomic Dynamics(招待講演)(国際学会)
, DV to
4.発表年
2019年
a 9%± 42.67
1. 発表者名
西村和雄
2.発表標題
「Flying or Trapped?」
3.学会等名
International Conference on Economics and Finance(招待講演)(国際学会)
a Note for
4.発表年
2019年
1.発表者名
ERYTHAE
2 . 発表標題
「Flying or Trapped?」
3 . 学会等名
北海道大学経済学部 セミナー (招待講演)
/ ※主任
4 . 発表年   2019年
2013 <del>"</del>
1.発表者名
Kazuo NISHIMURA
TOLEGO TITOTIMOTO
2.発表標題
Two-sided Altruism and Time Inconsistency
2
3.学会等名
IEFS Japan Annual Meeting 2017,Institutions, Markets, and Market Quality(国際学会)
4.発表年
2018年
2VIVT

1. 発表者名	
Takashi KAMIHIGASHI	
2.発表標題	
Optimal Cycles in the Dechert-Nishimura Model with Time to Build	
3.学会等名	
IEFS Japan Annual Meeting 2017,Institutions, Markets, and Market Quality(国際学会)	
4.発表年	
2018年	
1. 発表者名	
Kazumichi IWASA	
2. 発表標題	
Inequalities and Patience in Catching Up	
3. 学会等名	
17th SAET Conference on Current Trends in Economics(国際学会)	
4.発表年	
2017年	
〔図書〕 計4件	4 78/- (=
1. 著者名 KazupNichimura Macatachi Muraca and Kazupochi Vachimura	4 . 発行年 2021年
KazuoNishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura	20214
	5 (t) -0 > *#L
2.出版社 Springer Nature	5 . 総ページ数 429
Spiringer Nature	425
3 . 書名	
Creative Complex Systems	
1.著者名	4.発行年
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	2020年
,	
2.出版社	5 . 総ページ数
ナカニシア出版	368
2 建夕	
3 . 書名 『未来創成学の展望 逆説・非連続・普遍性に挑む』の第12章 「経済動学と理数科教育 非線形のゆら	
デ」	

1.著者名 栗原聡(著、監修)上東貴志他	4.発行年 2019年
2 . 出版社 - エヌ・ティー・エス	5.総ページ数 480
3.書名 栗原聡監修「人と共生するAI革命最前線〜人工知能がもたらす生活・ 産業・社会の未来像を展望する〜」	
1. 著者名 Edited by Masahisa Fujita, Kazuo Nishimura, Shin-Kun Peng, Ping Wang and Makoto Yano,	4 . 発行年 2020年
2.出版社 Wiley, International Journal of Economic Theory 16, Number 1,	5.総ページ数 <sup>125</sup>
3.書名 General Equilibrium and Location: A Special Issue in Honor of Marcus Berliant,	
〔産業財産権〕	

# 〔その他〕

神戸大学 経済経営研究所 研究者紹介		
https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/faculty/global_finance/k_nishimura.html		

## 6.研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
上東 貴志	神戸大学・計算社会科学研究センター・教授	
研究 分 (Kamihigashi Takashi) 担 者		
(30324908)	(14501)	

6.研究組織(つづき)

<u> </u>	. 研究組織 ( つづき )		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	岩佐和道	神戸大学・経済経営研究所・教授	
研究分担者	(Iwasa Kazumiti)		
	(00534596)	(14501)	
	関根 仁博	京都大学・経済研究所・特定教授	
研究分担者	(Sekine Yoshihiro)		
	(10811888)	(14301)	
	井上 寛規	久留米大学・経済学部・講師	
研究分担者	(Inoue Hiroki)		
	(90635963)	(37104)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------